

ひとり親家庭の子どもの居場所

学びの広場

保護者・関係者向け

パンフレット



学びの広場

「学びの広場」は、主にひとり親家庭の子どものための居場所です。



週に1回、大学生を中心としたスタッフによる学習支援を受けたり、遊んだりできます。



学習前に腹ごしらえをするための夕食も用意します(協力:カフェこらく)。

たとえば、こんな子どもたち（と家族）のための場所です。

学校の勉強については、

- 「家ではなかなか勉強に集中できない…。」
- 「学習塾に通うのは経済的に難しい…。」
- 「わからないところを教えてくれる人がほしい…。」
- 「楽しいこともあれば、苦手な勉強だって頑張れる…。」

勉強では困ってなくても、

- 「学校とも家庭とも違う居場所がほしい」
- 「『先生』ではない大人（学生）と過ごしたい」
- 「好きなことをして、のびのびと遊びたい」
- 「信頼できる大人を増やしたい」

保護者にとっては、

- 「子育てについて誰かに相談したい」
- 「子どもの育ちについて不安がある」
- 「支援者とつながりたい」



こんな場所になれたらいいと思っています。

ねらい
1

「楽しく勉強したい」「もっと勉強したい」に応える

家や塾などで十分に勉強できない理由がある子どもたちが学習する場と機会を提供します。

ねらい
2

「ここだから表現できる」自分がいる

安心できる人と安心できる環境に囲まれた中で、新しい関係性を築ける居場所になります。

ねらい
3

「あんなふうになりたい」大人を見つけられる

スタッフは勉強を教えるだけでなく、子どもにとって将来のモデル（見本）にもなります。

学びの広場 概要

開所日時

毎週火曜日 17時30分～18時10分

場所

ほうその共生ビル（1階 カフェこころく、2階 Libra）

※新祝園駅の西側にある南都銀行の隣のビル（3階建て）です。

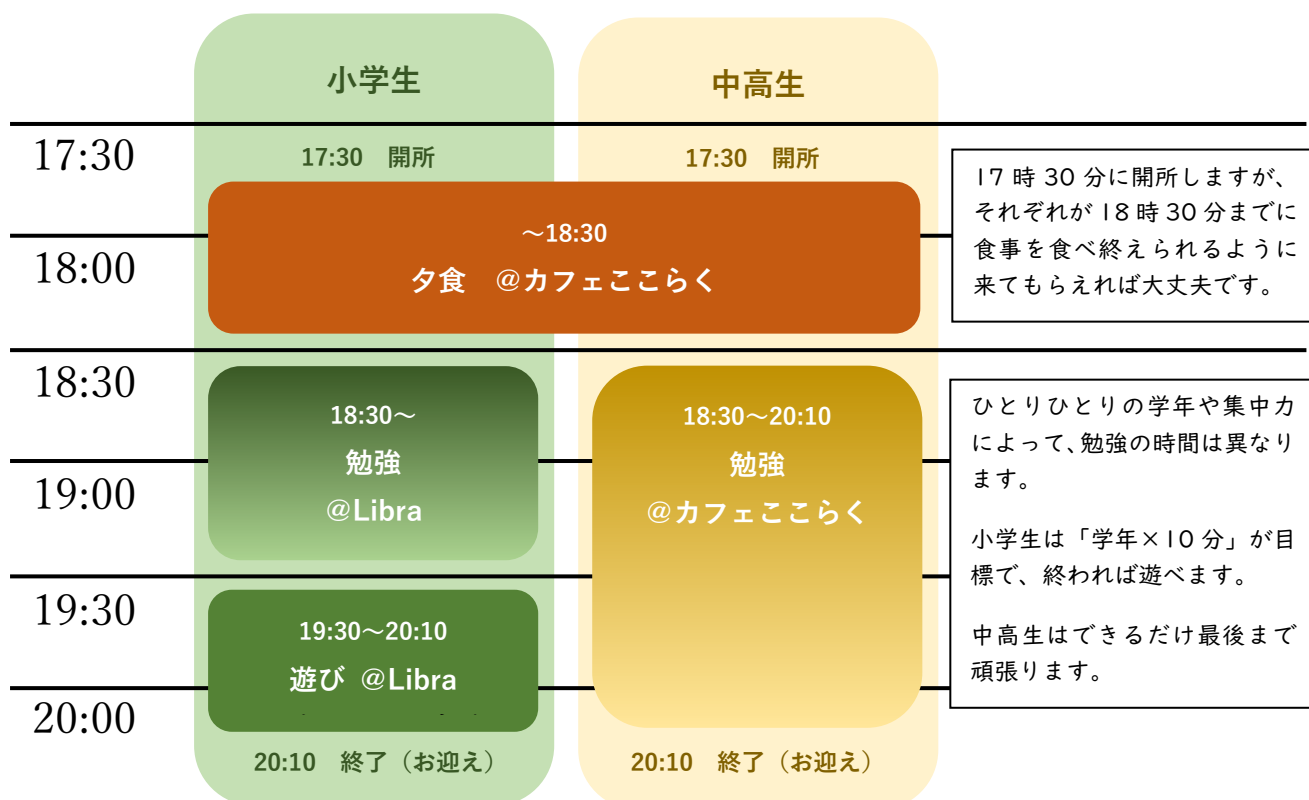
参加費

無料（精華町からの事業委託を受けています）

対象

ひとり親家庭の子ども（小学生～高校生）※幼児さんは要相談

タイムテーブル



参加までの手続き（新規）

1. 新規に「学びの広場」への参加を希望される方は、「NPO 法人そら」までお電話またはメールをください。
2. 職員が保護者の方と直接お会いする日時を調整して、子どものことについてお話をうかがいます。参加が決まれば、登録用紙を記入して、LINEの公式アカウントを友だち追加していただきます。
3. 月末になったら、翌月の参加日程をLINEでお聞きしますので、お返事をください（子どもが中学生以上で自分のスマホを持ち、保護者よりも子ども自身との間でやりとりをしたほうがよい場合は、そのような連絡方法をとることも可能です）。
4. 準備する食事の数に影響しますので、予定していた出欠に変更が出た場合は必ず連絡をお願いします。

注意事項など

- ・勉強の時間に使用する教材は子どもに持参させてください（こちらにある教材をコピーしてやってみることもできますが、特に小学校低学年はコピーをとっているあいだに勉強への集中が切れてしまうことが多いです）。
- ・お茶（水筒）はできるだけ子どもに持参させてください（こちらでもお茶とコップを用意しますが、私物でないコップは子どもどうしでの使いまわしが起こりやすく、感染症のリスクを高めてしまいます）。
- ・万が一の事故に備えて、福祉行事保険に加入していますので、ご承知おきください。

「学びの広場」への参加希望および問い合わせは…

NPO 法人そら（法人本部）

〒619-0240 京都府相楽郡精華町祝園西一丁目 8-1 ほうその共生ビル 3 階
担当：地主明広（じぬしあきひろ）

電話 0774-93-3814 E-mail nposora2003@yahoo.co.jp

「学びの広場」参加者用 LINE 公式アカウント→右の QR コードから



広場での新型コロナウイルス感染対策について

- ・参加する子どもたち、スタッフには検温を実施して、37.5 度未満の場合に参加を認めます（平熱が特に高い場合や低い場合は事前に申し出てください）。
- ・使用するフロアの入口には手指消毒液を設置します。
- ・複数の人の手が触れる可能性のある場所・物は適宜の消毒を実施します。
- ・特別な事情がある場合を除き、子どもにもスタッフにもマスクの着用を求めます（食事中を除く）。
- ・窓のある場所では、常時の換気を行います（なお、これまで食事や学習時に使用してきた部屋のすべてに窓または換気扇があります）。
- ・食事の際、人と人が対面するテーブルはアクリル板・ビニールシート等で遮ります（なお、2020 年 9 月現在、カフェこころくの各テーブルの間はパーテーションで区切られています）。
- ・食事の時間は、1つの大きなテーブルで食事をする人数が多くなるように、時間や場所をずらす配慮をします。
- ・学習支援時のスタッフは子どもの横もしくは斜めに配置します。テーブルで人が向かい合って座るところはアクリル板・ビニールシート等で遮ります。なお、テーブルではない場所での遊び場面については、子どもどうし、もしくは子どもとスタッフが対面して座る可能性を否定できません。
- ・以下の場合には学びの広場に参加していただけません。
 - ①子どももしくは同居する家族が、新型コロナウイルスの感染者と認定された場合
 - ②子どももしくは同居する家族が、感染者の濃厚接触者と認定された場合
 - ③子どももしくは同居する家族が、PCR 検査の対象となった場合
- ・今後の国内や近隣での感染状況を見ながら、学びの広場の開所の可否は適宜判断していきます。また、府県をまたがる人の移動に公的な自粛要請がなされた場合、スタッフの参加はそれに応じていくものとします（学生スタッフは他府県からも来ています）。